

滋賀県老人福祉施設協議会 令和2年度外部委員会 活動報告書

令和2年8月18日

記入者氏名・所属	藤居 眞
委員会名及び部会名等	会長
出席した会議の主催・事務局 (担当課等) など	令和2年度 第1回滋賀県介護職員人材育成・確保対策 連絡協議会
<p>会議の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 開催日 ▶ 委員構成 ▶ 協議内容等など <p>※当日資料の複写添付でも 構いません。</p>	<p>令和2年8月3日(月) 14時～</p> <p>滋賀県危機管理センター会議室1およびZOOMで開催 別添委員名簿のとおり</p> <p>(1) 会長、副会長の選出について 会長 田中博一(兵庫大学生涯福祉学部長) 副会長 藤居 眞(滋賀県老人福祉協議会会長)</p> <p>(2) 介護人材確保等施策の前年度実績および今年度事業に ついて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 離職介護福祉士等届出については、滋賀県では介護 福祉士に会議らず、現業職員の登録もお願いしてい る ・ 年度終盤の事業については、コロナ禍の影響で中止 になっているものが多い ・ 令和2年度の事業については、かなり積極的に新規 事業、拡大事業を県予算の方で確保しており、「福 祉意識の醸成」「多様な人材の参入促進」「マッチ ング機能の強化」「人材育成・定着促進」を連携させ ようというステージ構成となっている。 ・ 特に、資料3のとおり、外国人介護人材受入支援事 業として多くの予算を確保し、組織的にも【滋賀県 国際介護・福祉人材センター】を設立して、今後積 極的に額国人材の導入と希望施設とのマッチングを 行っていく。 <p>ただ、コロナ禍の影響で、入国等ができない状況が 続いており、事業の進捗は遅れているが、できるこ とから進めていってる。</p>

	<p>(3)レイカディア滋賀 高齢者福祉プランの改定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 5-1 の「次期計画の構成のたたき台」において、今回は「感染症や事前災害に対応できる体制づくり」と大きく計画の中に取り込むことが注目される。この項目については、各章の中に関連する事業として盛り込まれていく予定で、以後は高齢化対策審議会の中で議論がされる。 ○介護職員の確保・育成・定着に向けた施策の方向性(案)については資料 5-2 に記載のとおり、これまでの取組に、さらなる取組みの方向として示されている。今回は、新たな項目として、「介護現場のお業務改善」として、介護ロボットの導入支援だけでなく、新たに◎業務改善による生産性の向上の項目に力を入れる意思が示されている。 <p>(4)介護労働安定センターの事業概要について 特になし</p>
<p>協議会として検討すべき事項がありましたらご記入下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○資料 2 の中の「多様な人材の参入促進」で、●【拡】職場体験、インターシップ機会提供を積極的に進めていることとしているので、滋老協各施設についても、依頼があれば積極的に受け入れをしていただきたい。 ○外国人材を求めている法人、施設においては、積極的に活用をしていただきたい。 ○人材育成・定着促進についても、多様なメニューが拡大されているが、効率の観点からも目指す方向性の統一感も含めて、各施設からの積極的な参加をお願いしたい。 <p>今後、計画作成段階で、滋老協としてももっと事前に構成について県、県社協と議論をして、青写真の段階から共同作業で進めていく必要があると感じている。</p>